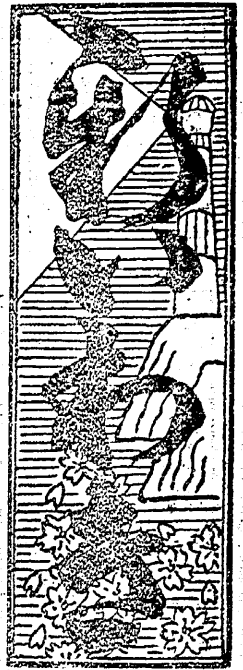


刊夕日九十二月九



日刊 報し日新報社発行 昭和十四年十二月九日 第九千三百八十八号 発行所 石城郡新井町 電話 二二五五 印刷所 石城郡新井町 電話 二二五五 発行人 牛谷政喜 印刷人 牛谷政喜 新井町新報社

來月三日からの

銃後々援強化週間

期間中に於ける實施事項

與匪戰の目的達成に欠くべからざる銃後々援強化週間は來る十月三日から施行されるので平市では新聞社、官衙學校長、方面委員、聯合青年團及び單位團長、郷軍分會長並びに各種團體代表その他と準備協賛を遂げ週開始の前日から戦歿將士の墓地清掃、軍人援護に關する勸誘捧贖式を官公署學校等に於て舉行することになつたが週開始第一日からの實施事項は左記の如くである

▲第一日(三日)市民全般的

默禱(正午のサイレン銃鐘等を合圖に)援護改善に關する實行、戦歿軍人の墓參遺家族傷痍軍人慰問、學校青年團に訓話、慰問袋募集其他△第二日(四日)正午の默禱、前日續行の外學校にて慰問袋製作、遺家族家庭へ勸誘奉仕、産業巡回指導其他△第三日(五日)前日の續行に方面委員の活動△第四日(六日)から第七日の(九日)まで前段の續行と勸勞奉仕その他

藪高に押されて 煙草の増反が難

石城組合で一日役員會

石城郡煙草耕作組合では來十月一日午前十時から平市郡團林事務所にて役員會を開き十五年度の耕作面積増反を今年度の百六十町歩から二百九町歩に増加すべく協議の筈であるが藪高の暴騰が百圓台となつた爲め現在の煙草耕作者の中には藪高に悩むものがあるらしく従つて前記の増反は餘程の困難でないかと見られてゐる尙ほ肥料資金借入についても打合はされる模様であつて所記の増面積が實現すれば反當り三十五、六圓として七

坑夫の不足に 悩む炭鑛

半島人と女坑夫

常磐各炭鑛では増産計畫に坑擴の設備は立つても勞務者の不足に困つてゐるが石城郡勿來町の大日本炭鑛の如き現在三千五百余名の作業から來十月早々採炭着手の計畫である中央坑に新規使用五百余名を要するものに對し坑夫の拂底

に悩んで取敢へず女坑夫三十名、半島人坑夫百名を雇備することになつた

護國の柱

豊間出身勇士

遠藤角之助少尉、石城郡豊間村豊谷崎出身はノモハの激戦に奮闘せる八月三十一日名譽の戦死をなせる

川部村の更生振り

曾て貧弱から此の餘裕

石城郡川部村は數年前まで貧弱な農村であつたが昭和十一年度に經濟更生指定村となつて以來躍進的な餘裕を止め同村信用組合に於ける十二年度現在の貯金三萬五千九百九十三圓が十三年度に七萬七千五百九十一圓に倍加し引續き激増から最近現在十一萬五千餘圓に達してゐる、また郵便貯金は十二年末に三萬七千三百三圓であつたものが次年度に八

戰地の便り

平市下平窪出身 (七)長瀬 良一

大陸昨今の氣候

朝夕涼風訪れる

拜啓、秋の候と相成りました、市の御一同様には益々御壯健にわたらせられませう、此の度は御懇情も御手紙を頂戴いたしましたして切々と御慰問の御

支那單語

乗車券は車票でチェーピアオ、入場券のこは月台票でユエタビアオ、寝台券は床位票と稱してチユアンウエイピアオ、發車は開車でカイヂエー、運轉は行車でシンヂエーと云

四倉市場の 藪騰勢

四倉市場の第三日(昨廿八日)は出廻り千二百卅一貫で左記相場に取引され前日の買値より二圓二十錢高を示した

▲最高一八四八〇錢 平均二四七〇錢

出陣遺家族並に 歸還兵慰安演藝

石城郡植田裁縫女學校では銃後々援強化週間期間中の來月四日午前九時から同町菊田座に出陣遺家族並びに歸還兵士を招待する慰安演藝會を催す

女子青年の献金

石城郡箕輪村の女子青年團大分團長高木すみるさん外六名は村の鎮守の秋祭りに果實を賣つて得たる利益金の内三圓を國防費へ献金す

トラツク墜落

石城郡上遠野村の根岸中野豊須美方トラツク運轉助手島田正信(三)は無免許で木材満載のトラツクに同僚三邊幸一(二)を同乗運轉した去る二十七日日蓮道石川、湯本線の同村川具地内に差かゝつた際、誤つて高四尺の崖下にある鰻

四倉市場の 藪騰勢

▲最高一八四八〇錢 平均二四七〇錢

出陣遺家族並に 歸還兵慰安演藝

石城郡植田裁縫女學校では銃後々援強化週間期間中の來月四日午前九時から同町菊田座に出陣遺家族並びに歸還兵士を招待する慰安演藝會を催す

女子青年の献金

石城郡箕輪村の女子青年團大分團長高木すみるさん外六名は村の鎮守の秋祭りに果實を賣つて得たる利益金の内三圓を國防費へ献金す

釣銭の押問答

石城郡神谷村の鎌田平陽女學校生加藤あき子(二)は假名は去る二十五日平市立町の煉炭工場から六十錢の煉炭を購入の際、五圓紙幣を出したところ釣銭がないと云ふので五圓十錢を置き買つた煉炭を届けて貰ふ際四圓五十錢の釣銭を共に持参される筈をあき子が他へ所用に出かけた留守の許へ煉炭だけは届いたが釣銭がないので前記工場の使用人に掛合つたところ五圓紙幣を置いて置かぬで押問答となり工場省から一千五百圓の交付指令を得た同修理場は二百トシ級

江名ドックに 國庫補助交付

石城郡江名町の江名漁港に設置される漁船修理場總工費二萬三千七百六十圓に對する國庫補助を本縣漁船から申請中であつたが去る二十七日農林省から一千五百圓の交付指令を得た同修理場は二百トシ級

自今當分の間毎月一日を公休日と 相定め候間右御諒承願上候

但し病人等の場合は御來店の方には發賣いたします 福島縣氷工業組合 平市 仲買人

平製氷會社
魚清水卸部
丸市屋魚店氷部

一般用の映畫と 文化映畫に就て

來月から施行の映畫法 映畫法はいよいよ來月一日から施行されるので一般用映畫(年少者の觀賞によいもの)及び文化映畫の認定標準を文部省に於て左記の如く決定、内務省から一般業者にこれを示された

文化映畫の認定標準

一 一般用映畫として認定せぬ標準(一)國史上の事實に

文化映畫の認定標準

一 一般用映畫として認定せぬ標準(一)國史上の事實に

文化映畫の認定標準

一 一般用映畫として認定せぬ標準(一)國史上の事實に

文化映畫の範圍、政治、國防、教育、學藝、産業、保健等に關し國民精神の涵養または國民智能の啓蒙に資するものにして劇映畫にあらざるもの、

文化映畫の標準、(一)一貫せる指導的内容を有すること(二)取材せる内容の正確なること(三)映畫的表現の適正なること(四)一般映畫觀者への理解し得るものたること



猪コレラの 予防法(上)

病菌は消毒薬で
すぐ死んで終ふ
時近各地に流行してゐる豚
コレラにつき豊林省の畜産課
では原因、症状、療法、預防
等につき関係者への注意を次
の如く語つてゐる、

本病の病原体は普通細菌濾
過器も通過するもので、顕微
鏡でも見えない微生物であり
これを濾過性病毒と云つてゐ
る、この病毒は豚の排泄物ま
たは分泌物によつて他に傳染
するので病豚の食ひ残しや排
泄物を食つたり病豚にさばつ
た人が他の豚のところに行つ
たりすると發病する、この病
菌は抵抗力が強く普通室温で
十四週間強力を保つが消毒薬
に對しては容易に無毒となり
千倍の昇水水、百倍の石炭酸
水で三分ぐらゐで死ぬから消
毒は便利である、

潜伏期は八日乃至十四日で
發病すると四十一、二度の高
熱を發し食欲を失ひ常に伏臥
して著しく元氣がなくなり秘
結するものが多い、次いで耳
縁や腹部に紫赤色の斑點を呈
するに至る、斯うして急性ま
たは慢性の経過をとつて斃死
する時にこの病氣は死亡率が多
い、預防法として次の諸點に
注意すればよい、

- (一)有病地方からの豚や出
所不明の豚の取引を差控へ
ること(二)病汚染に關係
あるやうな飼料を購入せぬ
こと(三)豚舎には他人を近
寄せぬこと(四)豚場の
入口には二十倍のクレオリ

ン、五百倍鹽酸加昇水で
つくつた消毒薬を滴した
踏込みを設け廢物を消毒し
て出入すること、

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

電話五九二番
に變りました

食
事。
喫
茶。
酒
場を兼ねた。

レストラ
ン
ザ
ロ
ン

平市銀座街

産科婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄

入院隨意 木村病院
病室完備
平市新川町九一 電話一六四番

お醤油は ヤマフル

醤油、味噌
たひら正宗
鱈節食料品

山崎合名會社
電話 本 店部一〇番
店 二七番

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

肋膜、氣管支、關節、神經痛、肺炎、口イマチス
...扁桃線、中耳炎、骨膜炎、腰痛、ぢぢ疾に...

新藥 治淋 六〇七號

藥價
九十五圓
三圓二十圓
四圓

山崎邊藥局

平田町(三丁目裏川岸通)
明雪堂眼科醫院
電話六六九番
入院應需(自炊の便あり)

朝日

石井商店

電話五九二番

帝國海上保險株式會社
火災 海上
平代理店 關内正一
事務取扱者 阿部助次郎
平市二丁目 電話一六番

根本婦人科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
(入院隨時)

債券、公債 多田井質店
平市大工町 電話五九一番

便利で 日下家政婦會の
經濟な 派出婦を御利用下さい

身元確かで品行方正ですから
何を任せしてもご安心です

平市白銀町十番地 (電話七二三番)

日下家政婦會
會長 日下すい子
會員同志の御加入(派出なき閑暇に裁縫や)
を御誘ひ致します(編物をお教授致します)

類品洋とンバカ

眞砂屋 (平市前驛 新道)

電話五六

病室増築 手術室完備
醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町 電話二六九番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻喉科
レントゲン科

平市田町 電話五二三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠